



CORPORATE PROFILE

本社
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 3-10-4
TEL: 03-3664-3980 FAX: 03-3664-3998
www.yuki-gosei.co.jp





人の役に立ち、
人によろこばれるものを創る

私たちは、1947年の創業以来、

有機化学の分野で研究・開発に取り組んできました。

人の役に立ち、人によろこばれるものを創る。

ただその思いを胸に、食品、医薬品、工業製品分野などで

高品質な「ものづくり」を追求してきました。

自社開発製品はもちろん、カスタムプロダクションや受託製造などにも力を入れ、

お客様のニーズに合わせた製品を安定的に供給しています。

当社が生み出したグリシンをはじめとする汎用性の高い製品から、

ユニークで付加価値の高い製品まで、ユーキが豊かなミライへつなぎます。

INDEX

ユーキでつなぐミライ2

ユーキの3分野4

つなげくらし（食品分野）

つなげいのち（医薬品分野）

つなげみらい（工業製品分野）

ユーキのものづくり8

営業／基本技術研究

量産技術研究／生産拠点

品質保証・管理

受託製造（化成品・医薬品）14

ユーキのグローバル展開16

ユーキについて18

化学技術を用いた 「ものづくり」を通して 人々の暮らしを支えたい

ユーキは、食品分野、医薬品分野、
工業製品分野の3分野で製品をつくり、供給し続けています。
身近な食品や、生活のいろいろなシーンで
皆さまの毎日、ミライを支えています。

つなげ
くらし

つなげ
いのち

つなげ
みらい

食品分野

つなげ
くらし

栄養とうまみの分野でくらしをつなぐ

安全な日持ち向上剤や調味料として食品に用いられているグリシン。
1952年に当社が日本で初めて製造販売を開始したグリシンなどのアミノ酸の製造技術は、
当社を代表する技術です。現在、私たちはグリシンを国内外の市場へ安定的に提供しています。

日本初グリシンを商業化

食品産業の成長と発展 とともに歩んでいます

当社のグリシンは、1952年に合成酒の
呈味成分として、日本で初めて製造販売
を開始。以来、グリシンは長年にわたり安
全な日持ち向上剤やうまみ調味料として
幅広い食品に使われています。

世界最大級のグリシン製造設備

品質の向上と安全性の 確保に取り組めます

当社は世界最大級のグリシン製造設備を
所有しています。品質の向上と安全性の
確保に努めながら、医薬品の製造にも匹
敵する品質管理体制のもとで製造し、国
内外の市場に安定供給を行っています。

新たなマーケットへの展開

ライフスタイルの変化を 捉え挑戦し続けます

昨今、健康への意識の高まりから、サブリ
メントや機能性食品などの発展と充実には
めざましいものがあります。当社でも、
変化するライフスタイルにあわせた新た
な製品開発に挑戦しています。



主な商品／グリシン、グリシン配合剤、ニコチン酸アミド
主な用途／日持ち向上剤(おにぎり、惣菜、菓子パン、かまぼこ等)、調味料(漬物、カップラーメン等)

医薬品分野

つなげ いのち

厳しい国際品質をクリアし、いのちをつなぐ

日本国内の薬事法はもちろん、米国FDAや英国MHRAなどの世界基準をクリア。
新薬、ジェネリック医薬品の原薬・中間体の製造受託を行っています。
また、自社ブランドによる医薬品原薬も販売し、お客様のニーズに応え、柔軟に対応しています。

世界各国の品質基準をクリア

各国の基準に適合した 安全な製品を製造します

当社の製品は、GMPをはじめ最新の規制に基づき製造しています。その品質は日本国内の薬事法はもちろん、米国FDAや英国MHRAなどの監査もクリア。高い品質、安全をお約束します。

医薬品の受託製造

お客様のニーズに 高い技術でお応えします

新薬・ジェネリック医薬品の原薬・中間体の製造受託事業では、研究部門による製造プロセス確立、新鋭設備での製造、グローバル基準の品質保証体制でお客様の多様なニーズにお応えしていきます。

自社開発製品のグローバル展開

自社開発製品を通じ 人びとの健康に貢献したい

自社開発原薬である抗ヘパリン薬の硫酸プロタミン、結核治療薬のイソニアジド、抗ウイルス点眼薬のトリフルオロチミジンなどの製造・販売を行い多くの人びとの健康に貢献しています。



主な商品／医薬品原薬（グリシン、イソニアジド、硫酸プロタミンなど）、医薬品中間体、化粧品原料
主な用途／輸液製剤（点滴）、抗ウイルス点眼薬、抗ヘパリン薬、抗結核薬、去痰薬

工業製品分野

つなげ みらい

最先端の技術をサポートし、みらいをつなぐ

めまぐるしく進化する工業製品分野では、半導体やシリコンウェハーなどの工業用機能性材料の原料を製造することで、さまざまな産業を下支えしています。
また、人びとの健康や生態系に配慮した農業を製造するための、高品質な原料も提供しています。

特色ある製品の開発・製造

さまざまな分野で 暮らしを支えています

当社の製造する有機ケイ素化合物は、半導体製造や船底塗料用原料として、また、シリジン誘導体はタイヤコード接着剤の主原料として、アミノ酸誘導体は工業用キレート剤として使われています。

情報化社会の発展に寄与

当社の技術は電子材料の 分野にも対応します

半導体や電子デバイスの製造においては厳密な管理が求められています。食品、医薬品を開発・製造してきた当社では製品開発と生産を一元化し、メーカーの厳しい基準に応える製造を実現しています。

環境・生態系を守る

健康・生態系、美しい環境 みらいを守る努力を続けます

健康や生態系に配慮した農業の原料・中間体を製造。また、すべての製造において環境面に関する対策を強化しています。環境配慮型化学品の供給を通じ、お客様のCSRの活動もサポートしています。



主な商品／有機ケイ素化合物、シリジン誘導体、アミノ酸誘導体
主な用途／電子材料、塗料用原料、合成樹脂用原料、タイヤ用原料、工業用キレート剤、農業原料

3つのミライを支える ユーキのものづくり

私たちは、大学の研究室でタバコの香料を合成することから始まりました。創業メンバーの「化学技術でみんなの役に立ちたい」という思いは、ユーキのすべての社員に受け継がれています。その化学技術を用いた「ものづくり」の魂を胸に、営業、基本技術研究、量産技術研究、生産、品質保証・管理それぞれが専門知識・経験を糧に協働し、ユーキの3つのミライ、食品分野、医薬品分野、工業製品分野等の事業に貢献しています。



ユーキのものづくり 営業

お客様と現場をつなぎミライをカタチにする

製品の開発・製造体制を熟知した3分野のスペシャリストが、ご要望に対応しています。
世界の多くの市場を視野にお客様をサポートいたします。

ご要望を迅速かつ的確にキャッチする営業体制

食品分野、工業製品分野、医薬品分野のスペシャリストを活動地域別に配置しています。機動力と実行力を兼ね備えた営業体制で、多様化していくご要望を迅速かつ的確にキャッチし、お客様を強力にサポートいたします。



開発に寄り添うスペシャリスト

当社では、研究開発部門の経験がある営業スタッフが多く在籍しています。専門知識を持つスタッフがお客様に寄り添い、製品のご要望・ご相談に応えます。研究・製造担当のスタッフとも密に連携し、受託製造にも柔軟に対応しています。

医薬品等の各国情報をサポート

食品・医薬品を中心に、製品に対しての厳しい検査・基準をクリアするだけでなく、世界各国に製品を送り出しているスペシャリストとして、情報の提供や各国規制対応の支援など幅広いサポート体制を築いています。

食品分野

グリシン、β-アラニンを中心としたアミノ酸などを担当。特に当社を代表する製品であるグリシンは、食品分野を中心に幅広く販売しています。

工業製品分野

ビリジン誘導体(タイヤ原料・農薬用原料・医薬用原料等に使用)、有機ケイ素化合物(合成樹脂・半導体などに使用)などを中心に取り扱い、受託製造にも対応しています。

医薬品分野

原薬および医薬中間体の販売やヘルスケア分野に注力した新製品の開発、世界各国の厳しい基準をクリアする受託製造のサポートを行い、ジェネリック原薬にも力を入れています。

ものづくりの現場から

製造現場を知り尽くした営業が 受託製造を徹底サポートします

営業部門には、研究者としての経験を持つ者が多く在籍しています。私は研究所での仕事を経験した後、営業に携わるようになりました。研究・生産の現場の状況を把握しているからこそ、各部署と密に連携し、お客様のご希望の製品の生産から納品までスムーズに対応していきます。特に受託製造に関しては、研究者としての視点も活かし、法的な規制をクリアした最適な製造工程をご提案していきます。長きにわたり、世界各国へ多くの製品を送り出してきた私たちに、どうぞお任せください。



最適な製造プロセス・製品をご提案する

主に、当社独自の技術開発、受託製造の基本設計を行っています。
受託製造では、お客様からのご要望に対し、きめ細かくタイムリーにお応えする体制を整えています。

独自の技術開発を活かした新製品の開発・ご提供

ビリジン・ピベリジン化合物、有機ケイ素化合物、アミノ酸誘導体や核酸誘導体など特色ある分野において、当社独自の技術を生かした新規製品の開発を行っています。医薬・医薬中間体や塗料、ポリマー材料など、医薬からIT産業までの多岐にわたる分野に向けて、当社が開発した化合物をご提供します。



法的な対応まで考慮した製造プロセスの設計

当社の専門スタッフが、ご希望の製品に関する情報収集や解析、必要な法的対応などの関連情報サービスをご提供します。さらに東京研究所の設備において、少量のラボ検討からパイロット製造まで迅速にスケールアップを図っていきます。これまでに蓄積した技術をもとに、お客様のニーズに応じた最適なご提案をいたします。

徹底した解析から生まれる高度な品質

NMRやGC/MS、LC/MS、粉末X線、SEMなど各種高性能分析機器を活用し、微量不純物の構造や結晶多形の解析などを実施します。これらの情報を反映させ、高度な品質を担保する製造プロセスを開発していきます。

〈主な分析装置〉

NMR、IR、GC、GC/MS、HPLC、UPLC、LC/MS、原子吸光、熱分析、屈折計、UV-VIS、施光度計、色差計、イオンクロマトグラフィー、アミノ酸アナライザーなど



ものづくりの現場から

効率よく、安心・安全なものを 貴社に最適なプランでご用意します

東京研究所では、お客様のご要望に応えられるように、学術調査から始め、数グラムスケールのラボ検討から、数十キログラムスケールの試作設備を用いた作業までを担当します。こうした製造プロセスの構築は、常に特許関連、申請関連等を専門に担当する品質保証・品質管理の部門とも密に連携しながら進めています。国際基準をクリアした製品化を目指し、お客様にとってロスの少ない最適なプランをご用意します。



量産化への確かなスケールアップを実現する

商品として量産するために、製品の特性に応じ最適な製法を探り、具現化する研究開発を行います。医薬品分野では、GMP管理への対応など、お客様のニーズにもお応えしていきます。

試作段階から実機で製造し、生産をサポート

常磐工場内にある生産技術部は、製造現場と連携して、量産に向けた品質向上と安定生産を可能にする製造方法の開発を行っています。試作段階から実機での段階的なスケールアップ検証を行い、量産体制確立後も継続して改善に取り組み、より効率的で安定した生産体制を追求していきます。



工業規模での技術集積とその応用

当社はグリニャール試薬をはじめとする有機金属試薬や遷移金属触媒を用いた水素化反応など、工業規模での技術とノウハウを集積しています。これらを活用し、医薬品のみならず、技術革新がめざましいIT関連材料や機能性素材、ポリマー関連材料などの製品化を進めています。

時代に合わせたスピード開発

市場の製品ライフサイクルは短期化しています。良いものを早くお客様のもとにお届けすることが肝心です。スムーズに量産に移れるように、基本技術研究部門、生産部門と連携し、スピードを重視した体制で研究・開発に取り組んでいます。

〈主な分析装置〉

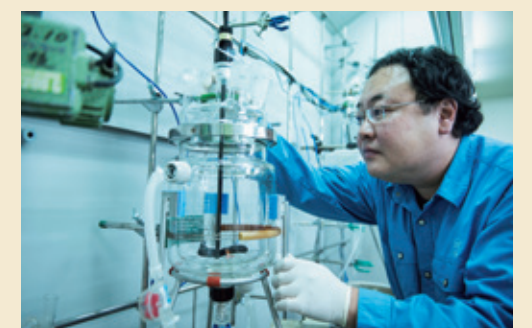
SEM、ICP、粉末X線回折、GC、GC/MS、HPLC、原子吸光、イオンクロマトグラフィー、粒度分布計、比表面積計、熱分析など



ものづくりの現場から

量産化への高度な技術で 難しい工程も大規模生産につなげます

東京研究所から移管される開発品について、量産化検討を行い、実際の生産を常磐工場で行っています。特に新製品の立ち上げ、初めて取り扱う製品などについては、トラブルを未然に防ぐために、事前に検討を重ねリスクマネジメントをしっかりと行い、スケールアップ検討を進めます。常磐工場内での意見交換、協力はもちろん、東京研究所とも密に連携し、効率よく大きな規模での製造に移れるように努めています。スケールアップの責任者として工場での実製造も見守っていきます。



微細な変化も見逃さず安定生産を維持する

アミノ酸、医薬品原薬、工業薬品などの各製品を生産する当社の主力拠点。
高性能な製造設備と効率的な生産体制で、汎用品から高付加価値品まで多様な製品を生産しています。

世界基準品質のものづくりを徹底サポートする

製品の品質保証・品質管理はメーカーの最も重要な責務です。
独立した品質保証部を設置し、世界に通用する品質を保つシステムを構築しています。

医薬品・化成品製造設備

日・米・欧の厳しい品質基準に基づく 「医薬品原薬」の製造

GMP対応の最新鋭設備を使って、日・米・欧の三極の基準に適合した工程管理に基づき、イソニアジド、硫酸プロタミン、トリフルオロチミジンなどの医薬品原薬を製造しています。

多様なニーズに応える受託製造

各種反応に対応できる製造設備を保有し、お客様の多様なニーズに合わせた受託製造を可能にしています。



アミノ酸（グリシン・β-アラニン）製造設備

国内外から信頼されるアミノ酸製造

当社のグリシン製造は、昭和26年の東京大学での合成研究を源流としており、長年にわたり日本ばかりでなく世界各国へ高品質なグリシンを供給しています。また、ビタミンの原料に使われているβ-アラニンの製造にも応用しています。

安定供給を約束する生産体制

世界最大級のグリシン製造設備をはじめとする各製造設備は、安全を第一とした集中管理により効率的に運用しています。



高品質の探求と安全の確保

医薬品については、国内はもとより米国FDA、欧州の品質に適合しています。また、1998年から品質マネジメントシステムISO9001を導入し、品質保証・品質管理体制を充実、強化しています。



ものづくりの現場から

分析のプロフェッショナルとして 製品の品質を保証します

製品の出荷前検査を担当しています。当社は製品の種類・数が多く、その分、試験検査における豊富なデータがあります。厳しい目を持って製品の品質を最終確認。さまざまな試験検査によって製品の品質を証明・保証しています。



世界基準の製品を 品質保証部が支えています

社内の品質（GMP及びISO）に関わる全ての業務を行っています。当社は、最新の情報を取り入れると同時に、長年、受託製造に取り組んできた豊富な経験を生かし、世界各国の厳しい基準をクリアした安心していただける製品を提供しています。



ものづくりの現場から

製品の安定供給のみならず 高品質・低コスト化も追求しています

工場では製品の市場への安定供給が欠かせません。その上で、ただ単にプラントを動かし製品を製造するだけでなく、製品の高品質・低コスト化を追求することも私たちの仕事です。職場のメンバーと協力・連携しながら、大規模な設備を運転して製品を大量生産しています。安全に、手順に従って正確に担当の作業を行うことが必須ですが、効率よく製造するために、毎日の製造工程の中で最良の方法を見つけたり、必要に応じて改善点の提案をしたりと積極的に取り組んでいます。



環境への取り組み

「自然と共生し、地球にやさしい企業」を目指し、環境保全に取り組んでいます。1997年7月から環境マネジメントシステムISO14001を導入しています。



水質汚濁防止

活性汚泥処理設備で工場廃水を浄化し、公共水域へ放流しています。



大気汚染防止

小型貫流ボイラーを導入し、省エネルギーや大気汚染の防止に努めています。



廃棄物の削減・リサイクル

自社廃液焼却設備と外部委託で廃棄物の処理・リサイクルをしています。





専門の知識・設備で
お客様のニーズに応える

受託製造

汎用工業製品から高付加価値の医薬品まで、さまざまな製品の受託製造を行っています。特に医薬品では、GMP対応の品質保証体制のもとで、信頼性の高い製品をご提供しています。

受託製造の メリット

- 有事の際におけるBCP対応（生産分散化）
- 多額の資金拠出を要する設備投資を回避
- 製造過程における各種管理費用の節減
- お客様の自社人材を有効活用、効率化

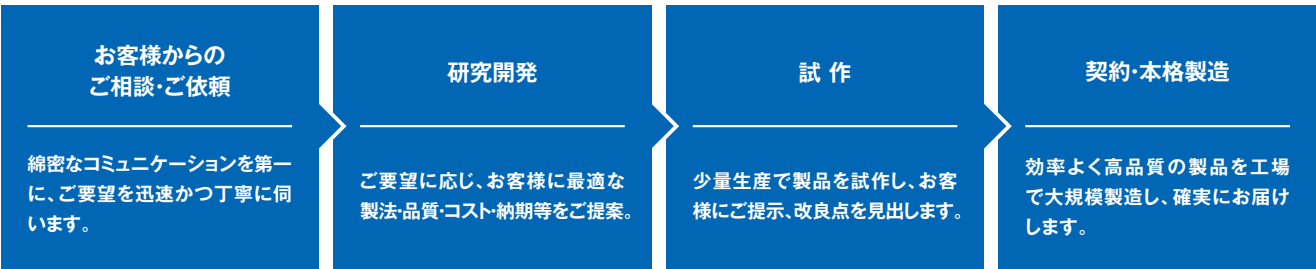
化成品
受託製造

さまざまな製品の製造受託にお応えするための体制を整えています。
ユーキならではの品質保証体制のもとで、信頼性の高い製品をご提供しています。

ユーキの強み

まず少量で試作品を製造したのち、その試作品をお客様に評価していただき、改良点を探ります。その後、商品化に向けた量産化を検討、立案。効率の良い製造方法で大規模製造の準備をし、ご納めいただいたのちに契約。高品質を保った量産に移ります。

受託製造の流れ



■主な製造技術

グリニャール反応・エステル化・アルキル化・アルコキシ化・アシル化・アミノ化・アミド化・ジアゾ化・各種縮合反応・各種還元反応ほか
※ISO9000に適合する品質管理のもと、製造法検討、商業規模の製造を行っています。

医薬品 受託製造

医薬品の開発・製造は国内外ともに、さまざまな制約があります。
当社はこれまでの経験を活かし、お客様を幅広くサポートしつつ、GMP対応の品質保証体制のもとで、信頼性の高い製品をご提供しています。

ユーキの強み

GMP基準で開発・製造・ 商業製品化

当社は長きにわたり、医薬中間体、新薬、ジェネリック薬品の開発などを行ってきました。お客様のパートナーとして、長年の経験を活かした受託製造はもちろん、すでに商品化された製品の改良についても対応します。

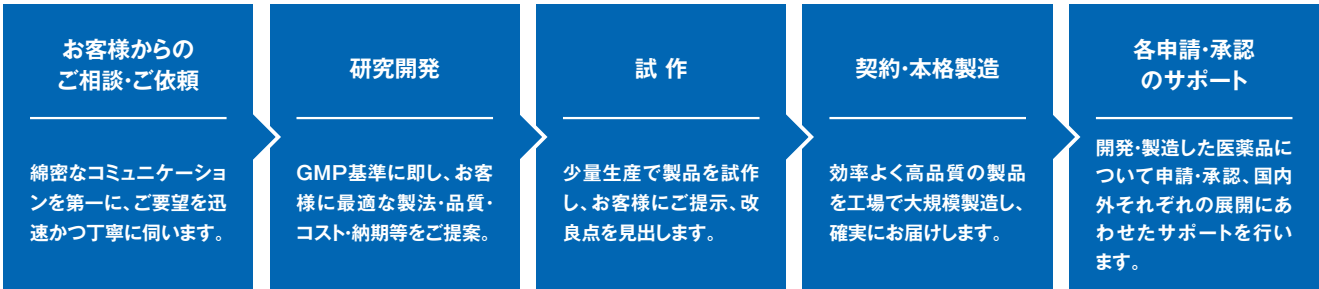
30カ国以上への輸出 グローバル展開

医薬品の開発・製造は国内外ともに、厳しい基準があります。当社では、長年の経験により培われた各国事情の知識、マーケティングノウハウを駆使して、世界30カ国以上に原薬を供給しています。

豊富な海外申請経験

日・米・欧の三極対応済みであっても、追加情報、データ取得が必要となる場合があります。お客様の製品展開プランに応じて、各国での必要情報を確認し、確実に申請、承認を受けています。

受託製造の流れ



開発・製造のプロセス

	医薬中間体等	治験原薬等	担当部署	
開発初期 ▼	合成ルートの探索	—	研究所	品質保証部門
開発中期 ▼	プロセスの改良・最適化	製法開示、ラボ検証	生産技術部	
スケールアップ ▼	試 作 c-GMPに基づく技術の確立	試 作 c-GMPに基づく技術の確立	製造部門	
商業生産	バリデーション	バリデーション		

■主な製造技術

グリニャール反応・エステル化・アルキル化・アルコキシ化・アシル化・アミノ化・アミド化・ジアゾ化・各種縮合反応・各種還元反応ほか
※GMPならびにISO9000に適合する品質管理のもと、製造法検討、医薬品製造承認の取得、DMFの作成、登録を実施し、商業規模の製造を行っています。

設備内容

【主な設備内容 (GMP対応)】

種類	材質	サイズ	個数	備考
反応槽	GL	8,000L	1	水添釜 水素圧：≦1.0 MPa
	GL	6,000L	3	
	GL	5,000L	3	水素圧：≦0.6 MPa
	GL	3,000L	3	
	GL	2,000L	4	晶析釜 GL,SUS 各種サイズ 多数 ~6,000L
	GL	1,500L	1	
	GL	1,000L	4	蒸留釜 GL,SUS 各種サイズ 多数 ~6,000L
	GL	600L	1	
	GL	500L	2	受器等 GL,SUS 各種サイズ 多数 蒸留受器、溶解槽、沈降槽、調整槽等
	GL	300L	2	
	GL	200L	1	濾過器 GL,SUS 各種サイズ 多数
	SUS	6,000L	1	
	SUS	5,000L	1	遠心分離機 各種サイズ 多数 上排型、底排型、全自動型、アフロン、SUS
	SUS	3,000L	1	
	SUS	1,000L	4	乾燥機 GL,SUS 各種サイズ 多数 真空トルネード型、コニカル型、振動流動型
	SUS	600L	1	
	SUS	300L	1	クリーンルーム 4 クラス100,000
	SUS	150L	1	
				医薬用水製造設備 1 USP対応



反応槽



遠心分離機

【粉碎設備】 粒径10ミクロン以下の超微粉碎が可能な医薬用カウンタージェットミル設備も導入しています。

〈生産対応機〉

名称	型式	仕様 (公称)		備考
		粒度分布	能力/h	
ジェットミル	ホソカワミクロン カウンタージェットミル 200AFG-pharma	2~20μm	20~30kg	媒体：窒素 400Nm3/h
ジェットミル	ホソカワミクロン スパイラルジェットミル 200AS	1~5μm	10~30kg	媒体：窒素 400Nm3/h

〈粉碎クリーンルームの仕様〉

クラス	100,000
温度	23±5℃
湿度	45±15%

〈小型機〉

名称	型式	仕様 (公称)		備考
		粒度分布	能力/h	
ハンマーミル	ホソカワミクロン ファインインパクトミル 100UPZ	20~700μm	2~30kg	プレートビーター ハンマービーター ピンミル3種類

ユーキのアミノ酸、医薬品原料、工業製品を世界へ



東京、大阪およびデュッセルドルフ事務所(ドイツ)を営業拠点とする販売ネットワークを通じ、国内外にさまざまな化学製品を届けています。世界中へ安全、安心な製品を届けるため、出荷においては適切な梱包容器を用い品質保持に万全を期した保管方法と輸送手段によってお届けしています。



事業所一覧



本社
〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町3-10-4
TEL : 03-3664-3980
FAX : 03-3664-3998



第二営業部
〒541-0047
大阪市中区淡路町1-3-7
キタデビル202
TEL : 06-6229-8731
FAX : 06-6229-8732



東京研究所
〒174-0043
東京都板橋区坂下3-37-1
TEL : 03-3967-7211
FAX : 03-3967-7576



常磐工場
〒972-8316
福島県いわき市常磐西郷町落合788
TEL : 0246-42-4221
FAX : 0246-44-2573



デュッセルドルフ事務所
Oststraße 152, 40210
Düsseldorf, Germany
TEL : +49-211-5665674
FAX : +49-211-5665675

ユーキの沿革

- 昭和22年 ● たばこ香料の生産を目的として有機合成工業株式会社創立
- 昭和27年 ● 「グリシン」「イソニアジド」「ニコチン酸アミド」生産開始
- 昭和33年 ● 「β-アラニン」生産開始
- 昭和35年 ● 「2-ビニルピリジン」生産開始
- 昭和37年 ● 現社名、有機合成薬品工業株式会社に改称
本社を中央区宝町に移転
東京証券取引所第二部市場へ上場
- 昭和38年 ● 「トリアセチン」生産開始
- 昭和39年 ● 常磐工場稼働開始
「ピース用香料」生産開始
- 昭和40年 ● 「硫酸プロタミン」「MF用香料」生産開始
- 昭和46年 ● 「グリシン」の新設備による生産開始
- 昭和50年 ● 「農薬中間原料」「ピコリン酸」生産開始
- 昭和53年 ● 「DNA」生産開始
常磐工場活性汚泥式処理設備完成
- 昭和59年 ● 常磐工場に多目的製造設備新設
- 昭和60年 ● 「シリコン関連製品」生産開始
- 平成 2 年 ● 常磐工場に医薬品中間体精製設備新設
資本金を25億5千万円に増資
- 平成 3 年 ● 本社を千代田区平河町に移転
常磐工場にケイ素・グリニャール試薬製造設備新設
- 平成 7 年 ● 本社を現地に移転
常磐工場に実験棟(技術開発センター)新設
常磐工場にDNA製造設備新設
- 平成 8 年 ● 2-ビニルピリジン製造設備を東京研究所から常磐工場に移設
常磐工場でISO9002認証取得
常磐工場にケイ素・グリニャール関連製品専用製造設備新設
資本金を34億7千1百万円に増資
「トリフルオロロチミジン」生産開始
- 平成10年 ● 本社・大阪営業所・常磐工場・東京研究所で
ISO9001認証取得
常磐工場に治験薬試験研究設備新設
- 平成11年 ● ISO14001認証取得
- 平成13年 ● フドステイン「ユーキ」生産開始
子会社「ユーキエンジニアリング(株)」が
「ユーキテクノサービス(株)」に改称
常磐工場に医薬品製造設備新設
- 平成15年 ● 常磐工場に品質管理棟新設
- 平成16年 ● 東京証券取引所市場第一部銘柄指定
統合基幹業務システム稼働開始
- 平成18年 ● 海外拠点として、デュッセルドルフ事務所を設立
- 平成19年 ● 液化天然ガス燃料転換設備新設
- 平成24年 ● 「ジェネリック医薬品用原薬」生産開始
- 平成26年 ● コージェネレーションシステム導入
- 平成30年 ● 医薬品原薬・中間体製造設備新設

社長ごあいさつ

有機合成薬品工業は企業理念として、『わが社は内外のあらゆる技術を駆使して人の役に立ち人によるこばれるものを創る』を掲げ、合成技術による独創的で価値ある製品の開発・製造・販売を通じて、世界の人々に安心・安全な製品をお届けし、社会に貢献することを目指しております。

当社の創業は、1947年に天然由来の甘味香料を工業化することから始まり、高度な科学技術に基づく化学メーカーとして設立されました。その後、戦後復興を目指す日本に、化成品、アミノ酸、医薬品の三分野で様々な製品を長年に亘り提供し、業容を拡大して参りました。直近に至る二期の中期経営計画（2013年4月～2019年3月）では、『健康』に着目し、アミノ酸、医薬品を中心としたヘルスケア市場・分野における新規提案や新製品の投入を積極的に行った結果、売上構成が大きく変化し、事業構造改革で一定の成果が上がってきたと実感しています。

現在は足場を固めるべく、戦略的な設備投資を実施するなど進めておりますが、ここ2年間はその成長に足踏みがみられました。しかしながら、この間にも継続して次期のシーズ探索を行い、更なる成長に向けた準備が整いつつあります。

ヘルスケア分野では、中期経営計画を経て事業ポートフォリオ全般が強化されてきており、今後もこの分野に新製品を絶え間なく投入することによって、営業基盤の強化を図っていく所存です。一方、化成品分野では、原燃料費の高騰などのマイナス要因が一部の製品で収益面を圧迫しているのは事実です。しかしながら、中国を始めとした原料供給の不安定な状況に対し、これまで安定供給を基本方針に行ってきた実績を武器に、お客様とのパートナーシップを一層深め、今後とも創造的なご提案をして参りたいと考えております。

弊社は小さいながらも、輸出比率が約4割を占めます。世界に目を転じればそのスピードは日本国内とは比べ物にならないほど速く、安定志向は競争に負けることを意味し、変化に対応できない企業は存続できなくなるとの危機感をもって取り組んでいきたいと存じます。

IT革命の進展により、短期的な将来ですら不確実性が増す中で、どの様な戦略を掲げ臨むかが企業にとっての生命線となることを強く認識すると共に、万事スピード感を持ち徹底して取り組む考えです。これまでの先人たちの努力によって、当社製品は今や世界中で、人々の健康や環境保護への貢献で社会にお役に立っていると自負しております。今後の事業発展の戦略をお示しすることで、お客様からの信頼にお応えしたいと考えており、引き続きのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2019年6月
有機合成薬品工業 株式会社
代表取締役 社長執行役員

松本 清一郎

企業理念

わが社は
内外のあらゆる技術を駆使して
人の役に立ち
人によるこばれるものを創る

経営理念

私たちは
ファインケミカルに機軸を置き
叡智と技術を結集した
真の「ものづくり」に挑戦します

会社概要

商 号	有機合成薬品工業株式会社
事 業 所	本社／第二営業部／東京研究所／常磐工場 ／デュッセルドルフ事務所
営 業 種 目	○有機合成製品および一般化学製品の製造ならびに販売 ○医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、食品、食品添加物、飼料添加物、工業薬品、香料、化粧品品の製造ならびに販売 ○前各号に関連する原材料、製品の販売
資 本 金	34億7千1百万円 (発行済株式総数21,826千株) 東京証券取引所 市場第一部銘柄
役 員	代表取締役 社長執行役員 松本 清一郎 営業部門統括 取締役 副社長執行役員 松井 勝 研究開発部門統括 兼 経営管理部門副統括 取締役 専務執行役員 山戸 康彦 経営管理部門統括 取締役 常務執行役員 宮田 宣嘉 生産部門統括 取締役(監査等委員) 須藤 尚武 社外取締役(監査等委員) 山田 啓介 社外取締役(監査等委員) 大堀 徳人 執行役員(第一営業部長兼 営業統括部長) 松川 昌雄 執行役員(品質保証部長) 木村 憲行 執行役員(経理財務部長) 小松原 達也 執行役員(常磐工場長兼 第一製造部長) 草野 正浩 (2020年6月23日現在)
従 業 員 数	309名(出向者、嘱託および臨時員を除く) (2020年3月31日現在)
主要取引銀行	三菱UFJ銀行、常陽銀行、 三菱UFJ信託銀行、みずほ銀行
関 連 会 社	ユーキテクノサービス株式会社

組 織 図

